

小麦づくり情報 4月号

村山総合支庁 農業技術普及課

出穂期は平年より早い5月2日頃と見込まれます。
 今後も高温で経過する予報のため、出穂が早まる可能性があります。
 圃場毎に出穂状況をよく確認し、適期の防除と追肥を行いましょ。

1 赤かび病防除は必ず実施！

赤かび病は出穂後の穂に感染し、多発すると
収量及び品質を低下させます。また、赤かび病菌は、
 人の健康を損なうデオキシニバレノール（DON）等の
かび毒を産生します。農産物検査において、**赤かび粒**
 は、**0.0%を超えて混入してはいけません。**

**安全で安心な小麦生産のため、必ず防除を
 行いましょう。**

＜防除時期の目安＞

出穂期：全穂数の40～50%が出穂 5/2頃

↓約7日後

開花期：全穂数の40～50%が開花

1回目防除 5/9頃

↓約7～10日後

2回目防除 5/16～19頃

赤かび防除は適期散布が最も重要です！

防除時期	1回目：開花期（出穂期の約7日後） 2回目：開花期の7～10日後
使用農薬 (いずれかを使用)	シルバキュアフロアブル、チルト乳剤25、トップジンM水和剤、トップジンM粉剤DL

※耐性菌の出現を防ぐため、チルト乳剤25とシルバキュアフロアブルの連用は避けましょ

2 追肥で小麦の品質・収量を高めましょ！

強力粉として適正なタンパク質含有率（11.5～13.0%）を確保し、収量を高めるために追肥を行いましょ。

①減数分裂期

出穂8～10日前の葉耳間長0cmの時期に2kg/10a（窒素成分）を施用しましょ。

②穂揃期

圃場の80%の穂が出た時期に草丈が90cm以下かつ止葉の葉色がSPAD値44以下の場
 合、2kg/10a（窒素成分）を施用しましょ。

※倒伏しやすいため、生育診断を行ってから実施しましょ。

春季農作業事故防止啓発運動 展開中 4/10～6/10

小麦だけでなく、水稲や野菜・果樹など次々と管理作業が重なる時期です。
 農作業は計画的に、ゆとりをもって、安全第一で行いましょ。

日頃からの作業安全を意識して、農作業事故を防止しましょ！



問合せ先／村山総合支庁産業経済部農業技術普及課（TEL：621-8294）